



Interdisciplinary Community Collaboration and Development
Japan, Israel, and the USA

地域福祉における 学際連携

日本, アメリカ, イスラエル

参加費
無料

2009年1月31日(土) 13:00 ~ 17:30

開催地 同志社大学、京都 新町キャンパス 臨光館201教室



シンポジスト (報告の内容はすべて同時通訳されます)



テリー・ミズラヒ *Terry Mizrahi*

ニューヨーク市立大学ハンター校ソーシャルワーク大学院、教授
元・全米ソーシャルワーカー協会会長(2001-2003)
Encyclopedia of Social Work 20th Edition (2008)、編者



ヨシー・コラジム=コロシー *Yossi Korazim-Korosy*

イスラエル社会省、政策・計画担当局長
ACOSA(米国、学会) 国際担当理事
地域福祉学術連携会議(イスラエル)、議長



上野谷 加代子 *Kayoko Uenoya*

同志社大学社会学部、教授
日本地域福祉学会、副会長
日本福祉教育・ボランティア学習学会、会長

近年、社会福祉の実践において、地域の連携が求められることが少なくありません。保健、医療、福祉の連携はもちろん、教育や司法、公共政策など幅広い分野の専門職間における連携が求められています。

また、NPOやまちづくり協議会など地域に根差した団体の多くは、その活動範囲を社会福祉に限定しないため、学際的にその活動を分析する必要があるでしょう。

今回のシンポジウムでは、地域福祉における学際連携に関する国際比較研究を行ってきた2人の著名な研究者を海外から招へいし、日本、アメリカ、イスラエルの地域福祉における学際連携についての議論を深める予定です。

今後の日本の社会福祉実践および教育を考えるうえでも、より多くの実践者、教育者、研究者の参加を期待します。

